

中西さんは、武鹿悦子さんが書いた『くらやみの物語』を読み、心に残ったことについて説明することにしました。次の【物語の一部】をよく読んで、あとの（問い）に答えましょう。

【物語の一部】

■物語のこれまでのあらすじ
 五年生の夏休みの終わりに、コウタは、カクロウをふくめた塾じゅくの仲間と花火大会を計画していた。お金を出し合って買った花火は、コウタの家の物置に入っていた。しかし、その花火は計画の当日にコウタの母親に見つかり、水につけられてしまう。コウタは、そのことをカクロウに伝え、カクロウと自転車で仲間のもとに向かい、報告をする。そこでコウタは仲間の一人に厳きびしくせめられてしまう。

（武鹿悦子『くらやみの物語』による。）

(問い) 中西さんは、特に心に残った文として——部を取り上げ、その理由について説明しようと考えています。理由として最も適切だと考えられるものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

- 1 登場人物の行動から、コウタのあわてている様子が伝わってくるから。
- 2 景色や様子を表す表現から、コウタのいかりやくやしさが伝わってくるから。
- 3 音を表す表現から、山の静けさと海の激しさが伝わってくるから。
- 4 登場人物の会話から、おたがいを思う気持ちが伝わってくるから。